



第13回竜王町老人クラブ大会



編集発行
 竜王町老人クラブ
 連合会
 No.90

希望に満ちた

令和三年に

会長 大野 稔



年が改まり、

皆さまには変わ

ることなくご壮健で、意気も新たにこの年をお迎えのことと思います。

平素は本会活動に格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの直接的な影響のもと、多くの活動の制限が余儀なくされました。本年は状況が好転しこの制限が多少なりとも緩和されんことを切に望むところです。

老人クラブは、老後を迎えられた皆さまが、①心身共に健やかに過ごすこと、②近隣との友愛を図り、豊かなコミュニティづくりに資すること、③そしてこれまでいただいていた社会からの恩恵を奉仕の形でお返しすることの三つを目的とするものです。そしてその実現のために、個人では限りあるところを、組織として力を結集して実現しようとするものです。

本町では全体的には人口減少傾向の

中であっても、高齢者人口は引き続き増加を続けています。その反面、わが老人クラブ参加者数は逆に減少傾向にあります。特に若手の参加が大きく減衰しています。

近年世の中が忙しくなり、多くの高齢者は現役世代と変わりない暮らしぶり、本町のみならず他市町でも老人クラブの活動の低調傾向や停滞と共に、大切な地域社会との関わりが希薄になっていると指摘されています。

こうした高齢者を取り巻く状況の変化を熟慮すると、当老人クラブにおいても、そのあり方を見直すべき時期にきたものと思われれます。昨年末にその見直しのための会議体をスタートさせていただき、議論を始めました。

人生百年時代を迎えた今、私たち高齢者にとっても希望に満ちた令和三年にするように微力を尽くし、この地域社会の中で一隅を照らし続けたいものと思えます。どうか本年もよろしくお願いたします。



町行政の情勢と
老人クラブ活動に期待するもの

竜王町長 西田秀治



竜王町老人クラブ連合会の会員皆さまには、ますますご壮健

でご活躍され、竜王町のまちづくりにご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、竜王町では「明るく元気で活力あふれる強いまち」「次世代に誇れるまち」を実現すべく、組織横断的にプロジェクトチームを結成し、竜王町の抱える課題の解決に取り組んでおります。

特に、三十年後の町の未来をグランドデザインに描きつつ、核となるコンパクトシティ化構想を実現することで、わが町の基盤をさらに固めていきたいと考えております。

近年の少子高齢化や核家族化による人口構造の変化に伴い、地域社会を取り巻く環境は大きく変化しています。また、今般の新型コロナウイルスの影響により混乱が続いており、こうした社会情勢の

なかで、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすためには、皆さまをはじめ今一度地域で主体的な支え合いを育んでいただくことが重要です。

介護保険事業計画に係る調査によると竜王町は、地域活動やスポーツ活動に参加意欲を示す高齢者の割合が全国や県の平均よりも高く、主観的幸福感についても他市町と比較して高くなっており、多くの方が自分の生きがいを見つけて、生き活きと暮らしておられる結果は喜ばしく、地域の励みにも繋がっております。

町内では「チョイソコリゆうおう」という乗合ワゴンを運行しておりますので、日々の活動に利用していただけると幸いです。

貴連合会におかれましても様々な地域活動に積極的に取り組んでいただいております。今後も地域社会を支え貢献いただくことにご期待申し上げます。

結びになります。竜王町老人クラブ連合会の益々のご隆昌と会員皆さまのご健康を心からご祈念申し上げます。

事業報告

副会長 澤井 きよ

今年度も例年通りの事業を計画いたしましたところ、年度当初から新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、大勢の会員様にご参加頂きますスポーツ大会、ゲートボール大会、グラウンド・ゴルフ大会は密になりやすい環境にあり中止させて頂きました。

コロナ禍の中でも、女性部の会員様による地蔵尊の前掛け作りや、単老ク会長様、本部役員による美化清掃、交通安全啓発活動に参加いたしました。

十月十九日「竜王町老人クラブ大会」を、十二月二日「認知症研修会」を、単老ク会長様、女性部長様、本部役員の参加で時間短縮、ソーシャルディスタンスを取りながら執り行いました。また、竜王町老人クラブ大会終了後「連合会のあり方検討委員会」の承認を頂き、委員会の発足に至りました。

なお、十二月二日の研修会終了後は女性部長様による友愛訪問をして頂きました。皆様から頂いたタオルは、正副会長が各施設にお届けいたしました。

本年度は、会員皆様に参加下さる事業が出来ず心苦しく思っております。

コロナが一日も早く終息することを願うとともに、終息後はまた事業が展開されると思っておりますので、その時は会員の皆様のご協力、ご参加頂きますようお願い申し上げます。



単位老人クラブ会長 女性部長会

第十三回

竜王町老人クラブ大会

副会長 古株 克彦

過ぎしやすい秋口の十月十九日、第十三回竜王町老人クラブ大会が町公民館ホールで開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来賓は西田竜王町長他二名に、参加頂く会員も各単位老人クラブ会長様と女性部長様受賞者に限定され約一〇〇名に縮小された形での実施でした。

式典は、最初に会長挨拶、町長祝辞の後、単位老人クラブの健全な運営に顕著な実績を挙げられた優良老人クラブの表彰があり、次いで今年結婚五〇年の金婚を迎えられた二十六組に祝詞が贈られました。引き続き来賓祝辞、受賞者を代表して川部定剛氏の謝辞があり、大会宣言が採択されて終了しました。

今回は、コロナ禍の影響で大会そのものの開催が危ぶまれ、講演等の計画を取りやめ、規



金婚者一同

●優良老人クラブ

- 岡屋南老人クラブ
- 岡屋北老人クラブ

模を大幅に縮小した大会でしたが、無事終了したことは会員各位のご協力の賜物と感謝しております。
今回の大会で竜王町老人クラブ連合会長表彰、祝詞を受けられた方々は次の通りです。

(敬称略)

●金婚者祝詞

- 大橋 清司・登志子
- 西村 喬昌・美恵子
- 谷口 正夫・ぬき子
- 西村健治郎・富美子
- 古株 利平・香代美
- 神田 光雄・恵美子
- 島村 清司・さな江
- 村井 幸夫・喜美子
- 徳本 壹武・千恵子
- 富田 新治・つぎ子
- 山中 長義・ふじ
- 市岡 安夫・明子
- 山中 紀生・みき子
- 川部 定剛・たか子
- 福本 利夫・民代
- 若井 幸二・すて
- 山口 隆夫・富美枝
- 松村 玄也・由美子
- 松村 忠次・信栄
- 北 徳治・和子
- 青木 武・まつ枝
- 犬井 忠彦・久江
- 平田 保則・路子
- 澤井 洋二・きよ
- 小西 正彦・和美
- 堀井仙太郎・ミエ子



金婚者代表



会長表彰老人クラブ

金婚を迎えて

小口 古株 利平

菊薫る十月十九日竜王町公民館において第十三回竜王町老人クラブ大会が開催されました。

今年は、コロナ禍の中、新しい生活様式に準じた式典で、ここに至る段取りをされました役員の方々に感謝申し上げます。この大会で本年結婚五十年の金婚を迎えた二十六組がお招きにあずかりご祝辞を頂きました。誠にありがとうございます。

私たちは、昭和四十六年に結婚しました。この年を振り返りますと前年の昭和四十五年は、世界七十七ヶ国が参加した万国博覧会が大阪千里が丘で開かれ、翌年の昭和四十七年は、日本と中国の国交正常化のシンボルである二頭のジャイアントパンダが上野動物園にやってきました。そして地元においては、圃場整備事業が動き出し経済面、文化面そして海外との交流が広がり始まった時期でもあったかと思えます。

一方では、日米貿易摩擦に端を発して、昭和六十年のプラザ

合意後、円高基調で日本全体がしんどかった時期もありましたが、持てる力で乗り越えてきたと思います。凸凹はありましたが、いろんな面で右肩上がりの良い時代ではなかったでしょうか。

五十年、半世紀と言いますと一つの歴史を感じます。その中で私達家族は、今日まで多くの人々のお力添えで暮らしてまいりました。中でも、私が五十五歳の時に中国・上海勤務を命じられ、いろいろなお付き合いもあることから家族帯同ではなく単身赴任をした際には、七年間に亘り留守家族に対していろいろな方より大きなご支援を頂きましたこと感謝しております。

家内も趣味として大正琴を通して、年代を超えて多くの方と巡り合い、被災地や老人福祉施設などへの慰問、各地でのコンサートなど自分の楽しみをしっかりと見つけて活動しています。これからは更に健康に留意して、今まで受けましたご恩に対して少しでもお返しができるよう、そして平和で良き時代が続きますよう歩んでいきたいと思っております。

謝 辞

林 川部 定剛

金婚者を代表して、一言お礼を申し上げます。

菊かおる季節を迎えた本日、令和二年度竜王町老人クラブ大会において、本年の金婚を迎えた町内二十六組の皆様をお招き頂き誠に有難く厚くお礼申し上げます。

また只今は、大野会長様を初め西田竜王町長様並びに来賓の方々から、過分なお言葉を頂戴し出席させて頂いた私達夫婦共々感謝の気持ちで一杯であります。本当にありがとうございます。

私達夫婦が、五十年という歳月を今日まで、大過なく過ごさせて頂きましたことは、本日も列席を頂きました皆様をはじめ、大勢の諸先輩の方々、地域や友人の方々の深いご支援と家族の支えのおかげであると思ふ時、本席をお借りして、改めて厚くお礼を申し上げます。

さて、思えば過ぎし五十年前は、長男夫婦として「ただ一生懸命に働き続けてきた」と言う

実感はありますが、今にして思えば伴に健康であった、こそと、ご先祖様に感謝をしております。

振り返りますと、大阪千里が丘で国際万国博覧会が開催された翌年の昭和四十六年に結婚致しました。この年希望ヶ丘文化公園東ゲートに青年の城とシンボルとなる円形の宿泊施設「青年の塔」が建設されました。また町内では、東西が統一した竜王小学校統合校舎が綾戸地先に竣工されると共に、開校を祝して第一回町民盆踊大会が開催された年でもありました。

私達が育った昭和四十年代から平成時代の半世紀は、日進月歩のごとく社会の発展と進化が続き、実によき時代であったと思えます。そして今日の日の喜びを胸に、尚一層身をつつしみ、健康に留意し、夫婦が伴にいたり、助け合いながら、コロナに負けない良き令和の日々を過ごしてまいりたいと、念じております。

お礼の言葉が十分に意を尽くせませんが、これをもちまして私の謝辞とさせていただきます。ありがとうございます。

第五九回 滋賀県老人クラブ大会の開催

副会長 古株 克彦

滋賀県老人クラブ大会が十一月十七日(火)草津市の県立長寿社会福祉センターでコロナ禍の影響を受けて例年より規模を縮小して実施されました。

今年のテーマは「伸ばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」でした

式典では、会長あいさつの後、滋賀県老人クラブ連合会会長表彰が行われ、優良老人クラブでは小口老人クラブが表彰されました。

式典終了後講演が開催され、「人生二〇〇歳へのステップ」と題して、MOHOひょうご事務局 長栗木 剛氏がコロナに打ち勝つためには、体の抗体と心の抗体を持つことによつて免疫力を高めよう。特に心の抗体は家に閉じこもることなく、三密に注意しながら行動することによつて醸成されることを分かりやすく講話されました。



滋賀県老人クラブ大会

滋賀県老人クラブ連合会 会長表彰を受賞して

小口老人クラブ

会長 奥 健三

去る十一月十七日 草津市の滋賀県立長寿社会福祉センターにおいて開催されました第五十九回滋賀県老人クラブ大会において、小口老人クラブが優れた活動業績や、献身的な福祉活動の功績に対して会長表彰を頂きました。

この栄えある受賞は、今日まで先輩の方々が当地区にあった活動を永年積み重ねてこられた結果だと思えます。今後はこの受賞を契機として、更に充実発展した活動を展開していきたいと思っております。

会員同士が何時までも元気で楽しく過ごせる団体として、期待に応えられるようクラブづくりに取り組んでまいります。

竜王町老人クラブ連合会のあり方検討委員会が発足

本会の諸課題を協議検討する会議体として、竜王町老人クラブ連合会のあり方検討委員会(略称あり方検討委員会)が昨年十一月に組織されました。

委員会では、連合会の組織に関する事、連合会の事業・行事に関する事、会員加入の促進に関する事などを中心に協議検討いただくこととなります。

委員会の委員は十人以上とし、任期は二年間で、委員には、次の方々をお願いしました。

本部運営委員から

委員長 西村 昭男

中江 敏雄

栗場 義廣

古株 芳子

上野 眞由美

単位老人クラブから

副委員長 山中 修 (川上)

大木 啓二 (松が丘)

寺島 雅吉 (新村)

小島 良子 (西出)

稲岡 節子 (七里)

何れも 敬称略

しぼりたて牛乳と乳製品のお店

営業時間 / 4月～10月 10:30～18:00

11月～3月 10:30～17:00

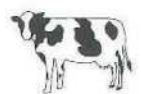
定休日 / 水曜日(祝日の場合営業)

住所 / 滋賀県蒲生郡竜王町小口 1183-1

TEL/0748-58-2040

e-mail/info@kokabu.jp

詳しくはHPまで



湖華堂

古株牧場

検索

オーダー家具設計/施工
建物内外リフォーム工事

複層サッシ・硝子 屋根・壁カバー工法

昭栄産業株式会社

蒲生郡竜王町岩井257-1

TEL & 有線 57-0504 FAX 57-0458

軽度認知障害の予防に関する

研修会に参加して

Y・M

去る十二月二日竜王町総合運動公園内の地域産業研修センターにおいて、理学療法士の並河 孝氏を講師に迎え「軽度認知障害の予防」〜人生一〇〇年時代を乗り切るヒント〜と題して講演が行われました。

参加して感じたことは、高齢化が進み私たちが住んでいるのは、若い人と同居されているのは少なく、これからはやっぱり認知症にかからないようにするにはどうしたらよいかと思えます。話の中で、しっかりと食事と睡眠、運動であると話され



ました。人と出会い、話したり笑ったりすること大切なことだと思えました。

研修会

では、手指の運動をしたり、右、左と変えてすることはやっぱり脳の働きが悪いと上手にできなかったと思いました。

先の「広報りゅうおう」で認知症が取り上げられていました。妻とともに歩く二度目の人生は、認知症とともに、記載しており、旦那さんが奥さんを介護されてきました。



実際にどちらかが認知症にかけ、介護しなければならぬ時に一人で抱え込まず、人に気軽に言えて、周りの人たちに支えられ、誰もが安心して暮らしていくことが出来る優しい町づくりを実現していきたいものです。

コロナ禍雑感

西山 K・K

昨年は、年初より新型コロナウイルスに翻弄され、各種イベントや行事も縮小、中止も余儀なく、国内感染者も十月二十九日時点で十万人を超え、今もなお増加傾向にあると報道されています。

日本経済はもとより世界経済も大きな打撃を受け、テレビをつける毎日暗いニュースばかりが流れています。

さて、当区では去る十月二十四日に「敬老の集い」が催され、当日は天候にも恵まれ、草の根ハウス前屋外にて出席者約四十名が検温、消毒、マスクの着用、ソーシャルディスタンスを確保の上、「鏡民謡同好会」の皆さんの踊り、三味線演奏、歌等々沢山の演目に歓喜し、日頃顔を合わせる機会の少ない方々とも談笑でき、有意義なひと時を過ごすことができました。

自治会役員の皆様大変ご苦労様でした。
終息の見えないコロナとも当分の間付き合っていかなざるを得

ないと思いますが、有効なワクチンの開発を待つとともに、会員皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。

川柳

西山 堀井 平

夫婦仲 笑いが大事 気が伸びる
カミサンの 手作りマスク

味噌汁と コロナニュースで
夕じたく

スクワット しゃがんだままで
立てません

コロナ禍 いすわりするな
辞退せよ

いつまでも報恩 感謝を
忘れまい

俳句

西山 堀井 絹枝

すぎ行きし 日々の速さの 菊満開
遊び呆け 駆け出す素足の
にわか雨

立冬の 風の声聞く 亀の首

冬帽子 登校の子等 みな笑顔

コロナ禍での「敬老のつどい」

岡屋 匿名

五年前まで青年団主催の「敬老のつどい」は、若者の減少により青年団がなくなり老人会が引き継いでいます。毎年七月に余興と昼食をしながら談笑と楽しい時間を過ごして頂く趣向でしたが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止により、例年と同様に一堂に会して親睦を図ることはできませんでした。

新しい生活様式を取り入れた「敬老のつどい」として「見守り訪問」を実施することとし、十月四日に役員と新入会員がグループ四名の五グループで約百二十軒の高齢者宅を慰問し、敬老記念品を手渡し元気なお姿の確認とコロナに打ち勝ち元気に過ごされることを伝えました。元の生活に戻るには数年かかりそうですが、一日も早くみんなが集い親睦を図る交流の場が持てる日が来ることを願っています。

コロナに負けず

岡屋 一女性

「かわいい子には旅をさせ」と昔は言って、優しく、時には厳しく育ててきました。今世は、かわいい子には自粛させと、コロナ影響で仕方のないことです。が、若い時には、世間へ出ていろいろ見聞きして、心広めることが後世をどれ程豊かにするかと思います。でも今世の若人は優れているので、新しい生活を見出し空高く飛び立つと思います。

私達は、戦争時代を生き、何も無かった時代から今、豊かな時代に恵まれ幸せを実感しています。戦争がなくても、災害があつたりコロナウイルスが現れ何とも言えない時代です。

私はおかげさまで元気で、暑さやコロナに負けず畑仕事に精を出しています。そろそろ冬野菜の支度と忙しくなってきました。自粛と言われても畑があるからありがたく、畑でマスクもせず汗を流し働くありがたさ、感謝

いっぱいです。今は、百歳時代と言われています。まだまだ元気で体動かし、日々楽しくコロナに負けず生きようと思います。一日も早くコロナウイルス終息を念じつつ。

第三ブロックグラウンド・ゴルフ大会に参加して

運営委員 栗場 義廣

去る十一月二十三日近江八幡市立総合運動公園体育館で第三ブロックグラウンド・ゴルフ大会が開催されました。

前日から雨が降り当日も朝から降る中開催を危ぶんでいたのですが準備もされていたので、体育館の中で室内グラウンド・ゴルフ大会の開催となりました。

体育館にビニールを敷き十メートルで三コースを作り、練習時間が設けられる中では、とにかくほばまっすぐに転がるので方向と打つ強さのバランスが良くかみ合わないと入りません。

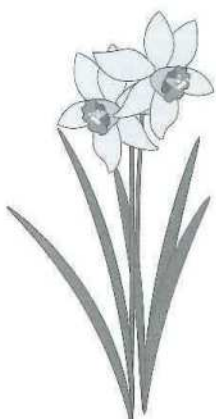
一人三回程度プレーする中でホールインワンした人は外れて

いきます。決勝はホールインワンした人のみで、長さ五メートルで競います。

五回プレーして何回ホールインワンしたかで競います。近距離で中々難しい中で、何んとなんと 五回パーフェクトにホールインワンされた方が優勝されました。楽しい一時を過ごさせて頂きました。



第3ブロック グラウンド・ゴルフ大会



予約制乗合ワゴン チョイソコリゆうおう

実証運行中!

「チョイソコリゆうおう」は行きたい時間と場所、乗車する停留所を電話で事前に予約すると町内移動ができる乗合サービスです。(利用には、会員登録(無料)が必要です)

運行は平日の午前九時から午後四時で、停留所は、主な公共施設や商業施設、医療機関の他、自宅近くから乗車いただけるよう町内に一五箇所設置されており、買い物や通院に利用できます。

多くの方々に利用いただくために、令和三年三月まで運賃を免除し無料で運行していますが、四月からは大人三〇〇円子ども一五〇円となります。

チョイソコリゆうおうに関するお問い合わせは、竜王 Ma a S 協議会まで

電話 〇七四八―五八一三七〇一



美化推進対策事業



原稿募集

次回発行(八月二日予定)の広報の原稿を募集します。普段思うこと、私の自慢、旅行記、趣味活動等なんでも結構です。会員の皆さまからの楽しいご投稿をお待ちしています。

◆原稿用紙は、「町老ク連」専用用紙、もしくは市販の原稿用紙四百字詰めを使用。用紙が必要な方は町老ク連事務局までご請求ください。

◆原稿は、題名、住所、氏名を含め四百字以内。写真があれば一緒に提出して下さい。

◆なお、パソコンを使用し、データ(USB等)を保存(原稿写真)されている場合はそのデータをお貸しく下さい。

◆俳句、短歌、川柳、詩は用紙を問いません。ご自由に投稿ください。

◆原稿締切 五月三十一日

宛 先 町老人クラブ連合会

事務局まで

編集後記

コロナ禍の中、マスクの着用、検温の実施、アルコール消毒の日々が続いています。町の行事各種団体の事業が中止となり閉塞感が漂った年となつていくように思われます。その中において会員の皆様から貴重な原稿を頂き、また各企業様には広告のご協力を賜り大変有難うございました。

私たち、広報委員会も二年間の広報の発行を担当させて頂き各分野で活躍されている会員の皆様のエネルギーに驚くと共に感銘を受けました。コロナの終息にはまだ少し時間がかりそうですが、しっかり対策を取り健康や交通事故故に注意して頂き明るい明日につなげていきたいものです。

広報委員一同



●インキ:環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
●印刷:有害な廃液を排出しない水なし印刷